

2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

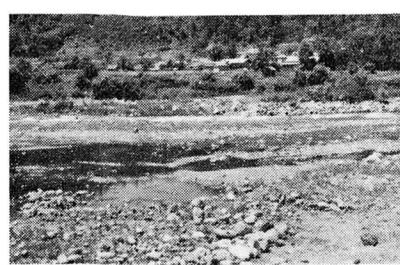
伊南村役場裏の伊南川



(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

① 土手から、川の全景をスケッチする。

② 川原や小さな中州、水たまり、小さな流れ、川岸のけずられている様子など、気づいたことを書き入れる。

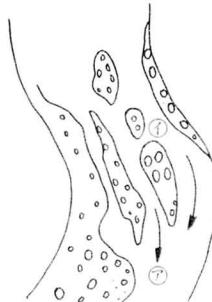


③ 流れが大きく曲がっている場所で、土地がけずられているのは流れの内側か、外側か。

④ 川原は流れの内側にできているか、外側にできているか。

(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

① ⑦の近くの川原に立って、川原から対岸に進むにつれて、深さはどう変わっているか調べてみよう。



② ⑦, ①の付近で、それぞれ10mの長さをとり、川の流速を調べてみよう。また、⑦, ①の川底はどう違うか。①の川底にはレキが多く砂が無いが、このことを、⑦, ①の川の深さ、流れの速さから考えてみよう。

③ ⑦の場所で、川原の近くと対岸の近くでの流れの速さについて、木片などを流して比べてみよう。

④ ⑦の中州の上方には大きなレキが多く、下方には小さなレキや砂が多いが、どうしてだろうか。

(4) 川原のレキを調べる。

川原でのレキや砂のつもり方が平均的な所を選んで、1m四方の方形枠を置